

2024年4月19日

鋼材流通全体の業務効率化・高度化を実現するデジタル・プラットフォーム「Metal X UP」を構築

株式会社メタルワン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村京介、以下「メタルワン」）は、鉄鋼流通全体の業務効率化・高度化、コミュニケーションコスト削減を実現するデジタル・プラットフォーム「Metal X UP」（メタルエックスユーピー）を構築し、2023年初頭から厚板分野を皮切りに導入を進め、このほど薄板・線材分野でのサービス提供を開始しました。

Metal X UP は複数の取引先の協力の下、取引先ユーザーの業務、利便性を第一に考えた開発を行ってきました。今後ご利用いただく方々の課題を解決するプラットフォームとして更なる機能の拡張や改善を行い、品種を問わずより多くの取引先に向けてサービスを提供できるよう図っていきます。

日本は今、人手不足やカーボンニュートラル等の課題に直面しています。鉄鋼流通業においてもこれらの問題への対応は急務ながら、商社と取引先間のコミュニケーションは、電話や FAX、メール等で行われており、煩雑で非効率な業務や紙の使用がまだまだ一般的となっています。こうした課題に対応するため、「Metal X UP」を開発しました。

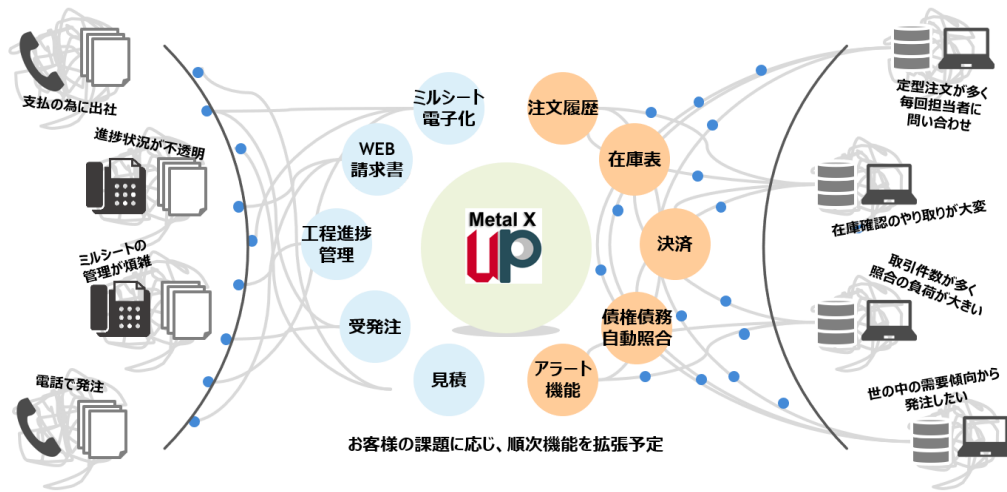
Metal X UP はミルシートの電子受渡や請求書の電子化、債権債務の金額照合、鋼材納期の進捗確認やチャットを利用した依頼・回答、注文履歴の確認といった商社・問屋・加工業者など鉄鋼流通各社の業務に関する多様なコミュニケーションや資料・データの受渡をワンストップで提供可能なプラットフォームです。

例えば、請求金額の照合業務は締め日後の短期間に Excel データのやり取りで対応していますが、請求データをタイムリーに提供できていないため、業務効率化が求められています。Metal X UP 上でリアルタイムに請求データを共有・確認し、更に売掛・買掛データを自動マッチングすることにより差異確認の業務量を削減できます。

Metal X UP の開発は、取引先からのヒアリングにより抽出した課題を要件化し、スピーディーにモックアップを作成の上、イメージを具体化しながら機能開発を行うアジャイル型を起用し、2022年4月よりサービス提供を開始しました。加えて、UI（ユーザーインターフェース）/UX（ユーザーエクスペリエンス）についても継続的な改修を行うことで、より取引先にとっての利便性向上に努めていきます。

SC上のアナログ情報のデジタル化

業務・コミュニケーションの効率化/高度化



メタルワンは、グループ会社含めた鉄鋼業界全体のデジタル化に取り組むことが、業界全体の課題解決に必要であると考え、Metal X UP など自社開発システムを他社にも提案しており、また、他社が開発しているシステムとの連携も模索しています。

ニュースリリースに関する問い合わせ先

株式会社メタルワン 総務部 広報・CSR ユニット 木村、樋口

Tel : 03-6777-2816 / Mail : mo.pr@mtlo.co.jp